

令和2年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う緊急事態宣言が2度に亘り発令され外出の自粛やイベント等の自粛など様々な自粛が行われました。それらは、センターの運営にも様々な影響を与え、センター本体事業も時短での運営や食事提供、イベント等の中止など利用者へのサービスも減少し、また、各種アウトリーチ事業においても訪問や同行のなどの自粛により、電話相談による支援への切り替えなど従来と違う形での支援の方法をとるようになりました。利用者自身も新型コロナウイルス感染への不安や食事・イベント等の中止により来館の減少がみられました。これら新型コロナウイルスの影響は、令和3年度も続いていく状況の中で新たな支援の方策を検討することが必要になってきています。

ただ、現在まで利用者、職員にコロナ感染者が出ていないことは、新型コロナウイルス対策をみんなが続けている結果といえるので、引き続き対策を継続していきます。

令和元年7月からの生活支援センター機能標準化モデル事業の検証が終わり、令和2年10月より機能標準化の本格実施となりました。当初、休館日の変更や利用基準の調整などで利用者への影響も見られましたが、半年経過し利用者に浸透してきていると思われます。

引き続き、利用者支援のより良い方法を検討すると共に地域で埋もれている精神障害者やメンタルヘルスの不調の方への支援を検討していきます。

■ 事業内容

- 1 開所日数 : 310日
- 2 登録者数 : 1,240名 (男性 732人、女性 508人)
- 3 来館者数 : 6,603名

4 事業実施状況

(1) 本体事業

ア. 日常生活支援

電話相談 5,260件、 面接 588件、 フリースペース対応 1,220件
訪問・同行 124件、 その他 12件

イ. 有料サービス

夕食サービス 1,649名、 入浴サービス 385名、 洗濯サービス 373名、
インターネット 77名

ウ. 嘱託医相談

相談回数 29回 相談者 55名

エ. カウンセラー相談

相談回数 15回 相談者 30名

オ. 自主事業

*定例事業

誕生会(9回:141名)、利用者ミーティング(8回:92名)、姫の会(26人)
リカバリー講座(9回:110名)、おりがみ倶楽部(7回:50名)、昼食会(中止)、
ひだまり参加(中止)、昼カラオケ(中止)、

*その他イベント等

いたちまつり、納涼会、クリスマス会、合同新年会、区民まつり、スポーツデー
ソフトボール大会及び練習、花見、初詣、ようこそ出会い広場、薬剤師講座等
すべて、新型コロナウイルス感染防止のため中止

カ. 普及啓発活動

例年実施している生活支援センター及び精神障害、精神障害者に対する理解と協力を得るための関係機関及び団体向けの勉強会、説明会等は、問い合わせはあるものの新型コロナウイルス感染防止のため中止もしくは来年度への延期とした。

キ. その他

- ・横浜市内でも高齢化率の高い栄区の地域課題として「8050 問題」があげられる。その家庭内の問題（精神障害、ひきこもり等）についての相談が、ケアプラザから増えてきていることもあり、区内のケアプラザに対し生活支援センターの事業紹介をすると共にケアプラザ毎に相談担当職員を配置し、相談体制の強化を図った。
- ・コロナ禍において、テレワーク、オンライン授業等が行われている中で、メンタルヘルスの不調を訴えるケースの相談も増えつつある。メンタルヘルス不調者への相談支援を強化するため、チラシを作成し区役所、基幹相談支援センター、ケアプラザでの配架のもと連携し、相談支援体制を構築している。
- ・令和 2 年度は、家族会（さかえ会）の行事自体が中止になっており、令和 2 年度予定していた家族会・区役所・生活支援センター共催の家族教室は、令和 3 年度に持ち越しとなった。

(2) 自立生活アシスタント事業

地域において単身で生活する精神障害者（自立生活アシスタント事業該当者）の方々の安定した生活を維持出来るよう支援しました。

支援に当たっては、専任職員だけでなく支援内容により他の職員及び関係機関との連携、協力のもと事業の充実を図りました。

又、自立生活アシスタントの利用状況・目的を精査し、利用者及び関係機関と相談の上、契約終了者については、センター本体事業対応とした。

尚、自立生活援助事業については、区役所と連携し実施について検討しているが、今年度は利用者はいなかった。

○登録者数 7 名 （相談中 3 名、 終了者 1 名）

○支援内容

- 1 金銭管理（計画性の指導と管理）・・・あんしんセンターとの連携
- 2 衣食住及び消費生活支援・・・ヘルパー事業所との連携
- 3 コミュニケーション支援
- 4 健康管理、服薬指導及び管理・・・訪問看護との連携
- 5 住環境整備（部屋の片づけ、引越しの援助、）・・・ヘルパー事業所、不動産業者との連携
- 6 生活のリズム作り
- 7 精神の安定
- 8 定期的訪問（生活状況の把握、精神的安定）
- 9 その他日常生活における問題の相談

(3) 地域移行・地域定着支援事業

国事業の地域移行・地域定着支援事業の令和 2 年度利用者が 1 名おり、順調に進んでいる。ただ、新型コロナウイルスの影響で病院への面会中止や協働活動、普及啓発活動もできない状況が続いているため、退院サポート事業及び地域移行・定事業も新規の相談依頼は滞っているのが現状である。

また、舞岡病院の OT プログラム（かたつむり）も同様に中止となっている。

今後の新型コロナウイルスの状況を見極める必要がある。

○支援者数 4名（相談中 0名、退院後フォロー 1名）

（４） 計画相談事業（指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業）

区福祉保健センターと連携し施設利用者や施設入所者の方々を対象に適切な社会資源の活用及び関係機関との連携で充実し安心した日常生活を過ごせるよう支援しました。

又、区内の精神障害者への計画相談事業所が少ないため、センターへの問い合わせが増えており、本来のセンターの精神障害者の計画相談事業所に対する役目が十分にできていない状況にある。そのため、区内の精神障害者対象の相談支援事業所との定期的な打合せを行っている。

○総件数 22件（特定相談件数 22件） 相談中 1件

5 防災訓練

・第1回 自衛消防（防災）訓練

令和2年7月13日（月）14:00～15:30

・第2回自衛消防訓練

令和2年2月13日（土）16:00～16:30

*第1回、第2回共に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小菅ヶ谷地域ケアプラザ及び生活支援センターの利用者参加による避難訓練は中止とし、両職員による避難経路確認及び消火設備確認を行った。

・福祉避難所開設訓練

令和2年2月13日（土）16:30～18:00

小菅ヶ谷地域ケアプラザと共同で新型コロナウイルス感染拡大の状況のもと、感染者と思われる人が避難してきた前提での避難場所開設についての図上訓練を実施した。

■法人及び関係機関等会議及び行事 等

（１）横浜市、栄区関係

- ・横浜市生活支援センター施設長会議、各種部会、サポートネット会議、自立支援協議会、精神部会、相談支援部会、ネットワーク連絡会、三機関定例カンファ・・・実施
- ・福祉避難場所連絡会、自殺予防対策分科会・・・書面開催
- ・自殺対策キャンペーン、ふれあい交流事業、区民祭り、新年祝賀会、三機関合同連絡会、各種研修会・・・中止

（２）区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等

- ・生活支援センター連絡会、移動情報センター推進会議、さかえ会・・・実施
- ・サポートセンター経運営委員会、みちくさみち理事会、こだちの会運営委員会、小菅ヶ谷ケアプラザ運営委員会、小菅ヶ谷つながるプラン全体会・分科会、とんぼ報告会・・・書面開催
- ・南部若者支援連絡会、実務者連絡会、地域ケア会議、栄区社会福祉大会、さかえ福祉フェスタ、区社協専門機関分科会、駅前祭り、小菅ヶ谷地域敬老会、運動会・・・中止
- ・障害者週間キャンペーン・・・チラシを施設配布

(3) 市精連関係

- ・市精連理事会、相談部会、シンポジウム、政党懇談会・・・実施
- ・市精連総会・・・書面開催
- ・市精連研修会・・・オンライン開催

(4) 法人関係

- ・施設長会議、研修委員会、広報委員会、研修会・・・実施
- ・法人理事会、評議員会・・・一部書面開催
- ・法人発表会・・・中止

■ 研修会参加

(1) 外部研修

- ・支援、援助技術関係(9回)、 ・医療、薬関係(1回)、 ・災害関係(0回)、
- ・メンタル、リスク関係(2回)、 ・その他、一般関係(8回)他

(2) 法人関係

- ・法人研修(7回)、 ・法人発表会(0回)、 ・センター研修(2回)他

■ 実習生受け入れ

(1) 精神保健福祉士関係実習 : 10名

(2) 看護関係 : 6名

(3) その他 : 0名

以上

令和2年度 栄区精神障害者生活支援センター指定管理料収支決算書
(総括版)

自令和2年4月1日 至令和3年3月31日

(単位:円)

科目	予算額	決算額	決算額のうち 法人負担金額	差 額	備 考
Ⅰ 収入の部					
1 指定管理料収入(当初)	81,927,000	81,927,000		0	
2 指定管理料収入(変更)				0	
3 法人負担金				0	
4 相談支援事業に要した交通費収入				0	
収入合計	81,927,000	81,927,000		0	

Ⅱ 支出の部					
○ 戻入精算	1 人件費	64,958,000	55,920,745	0	9,037,255 /
	所長			▲ 57,810	
	常勤職員			1,796,749	常勤5名
	非常勤職員	14,448,000	10,445,938	4,002,062	非常勤4名
	アルバイト	4,857,000	2,791,661	2,065,339	アルバイト2名
	調理アルバイト	2,813,000	2,825,770	▲ 12,770	調理6名
	嘱託医賃金	1,002,000	812,899	189,101	嘱託医3回/月、カウンセラー1回/月
	法定福利費	7,079,000	6,241,959	837,041	健康保険、厚生年金他
	退職金給与引当金	1,128,000	936,000	192,000	中退金
	福利厚生費	160,000	146,457	13,543	健康診断、インフルエンザ
	労務厚生費	60,000	48,000	12,000	ハマフレンド
	2 施設管理費	6,620,000	6,973,989	0	▲ 353,989
○	光熱水費	3,260,000	3,691,372	▲ 431,372	電気、ガス、水道
	庁舎管理費	2,920,000	2,877,124	42,876	施設管理、清掃他
	修繕積立金	500,000	500,000	0	大規模修繕積立
	利用者負担金充当金	▲ 60,000	▲ 94,507	34,507	入浴、インターネット他
	3 運営費	7,409,000	6,041,245	0	1,367,755
	旅費	400,000	172,285	227,715	旅費交通費
	消耗品費	600,000	499,864	100,136	事務用品他
	印刷製本費	250,000	164,805	85,195	パンフレット、チラシ作成他
	修繕費	1,500,000	1,198,945	301,055	自動ドア、エアコン他修理
	通信運搬費	1,000,000	1,028,808	▲ 28,808	電話、ネット、切手他
	賃借料	2,000,000	1,776,521	223,479	車両、PC、コピー機他リース料
	備品等購入費	250,000	416,570	▲ 166,570	
○	保険料	100,000	26,870	73,130	施設賠償保険
	雑費	1,309,000	756,577	552,423	研修費、会費他
	4 本部繰入金	2,940,000	2,940,000		0
	支出合計	81,927,000	71,875,979	0	10,051,021

Ⅲ 戻入の部					
人件費戻入精算分		9,037,255			

戻入合計

9,037,255